

STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社中学・高等学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

留学生紹介

9月から滞在している2名の留学生に加え、4月に5名の留学生を受け入れました。このうち4名は、タイとオーストラリアの姉妹校の留学生は約1カ月の滞在です。YFUの留学生は、約10カ月の滞在です。9月から滞在している2名の留学生は夏休みまでに帰国します。4月から新しく加わった5名の留学生の自己紹介を掲載します。

どうぞよろしく

P23 Sam Tys

出身:姉妹校 St. Patrick's College(オーストラリア)

期間:2017/4/6 ~ 5/6

わたしはサムです。15 さいです。オーストラリアからきました。

2ねんかん日本ごをべんきょうしています。もっと日本ごをべんきょうしたいです。

わたしは、タコスがすきです。わたしはハイキングもすきです。



て日本ぶんかを勉強したいです。

たくさんの友だちをつくりたい

121 Pabhawarinth Sitthichoti (Sai)

出身:姉妹校 Roong Aroon School(タイ)

期間:2017/4/6 ~ 5/6

私の名前はサーイです。私は十七才です。タイのルンアロンがくえんから来ました。私のしゅみはタイの楽器をひくことです。日本で好きな食べ物はどうぞとおかしです。私のかぞくは五人です。ちちとははと二人のあにです。日本で日本のぶんかと日本語を勉強したいのと、たくさん友だちをつくりたいです。



テンプラとうどんが好き

G26 Frances Clarke

出身:姉妹校 St. Patrick's College(オーストラリア)

期間:2017/4/6 ~ 5/6

私のなまえはフランスです。フランキーとよんでください。

オーストラリアのタスマニアからきました。タスマニアは小さくてつまらないです。でもきれいです。私は、15さいです。高校一ねんせいです。私の学校はセントパトリックスカレッジです。しゅみはギターです。かぞくは四人です。父と母と、おとうとと私です。日本語を勉強しはじめて3年がたちました。やく、1か月日本にいるよていです。

好きな日本のたべものはテンプラとうどんです。日本でもっと日本語をまなびたいです。そし



日本でしたいことは

121 Chanidapa Phaopaisitsrianun (Ping)

出身:姉妹校 Roong Aroon School(タイ)

期間:2017/4/6 ~ 5/6

私の名前はピンです。私は十七さいです。タイのルンアロンがくえんから来ました。私のしゅみはうたを聞くこととえいがを見ることです。私のかぞくは五人です。おとうさんとおかあさんとおねちゃんといもうとです。うちにねこがいます。二年日本語をべんきょうしています。日本でやりたいことは、日本語のべんきょうとりよ行と友だちをたくさん作ることです。



将来は日本の大学に

111 Tone Ellen Sabo

YFU 年間留学

出身：Helsingin Kielilukio (フィンランド)

期間：2017/4/7～2018/1/6



私はサボトネです。17 才です。フィンランドから来ました。でもノルウェー人です。フィンランドの学校は HELSINGIN KIELILUKIO で、今 1 年生です。

しゅみはゲームをすることです。アニメも好きです。

日本で日本語をべんきょう

したい。

高校のあとで日本の大学にはいりたい。

よろしくおねがいします。

昨年 9 月から留学中の留学生は、次の兩名です。

P22 Aureile Grandjean (Lily リリー)

I31 Michelle A.C.BOHR (ミッシェル)

リリーはスイスからの AFS 年間留学、ミッシェルは、オランダからのロータリークラブ交換留学です。いずれも 7 月上旬までの滞在です。

日本語がかなり上達してきました。気軽に話しかけてみてください。リリーは美術部、ミッシェルは、テニス部に所属しています。



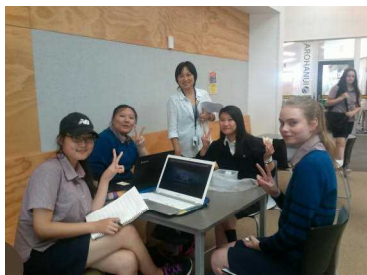
Lily



Michelle

短期留学について

ニュージーランドコース



オーストラリアコース



2017 年の春季短期留学は、姉妹校の事情で新しい学校との交流をする内容となりました。

日程 2017 年 3 月 18 日～29 日

○ニュージーランドコース (14 名)

Hobsonville Point Secondary School (オークランド)

○オーストラリアコース (15 名)

John Wollaston Anglican Community School (パース)

事前学習は「現地で困らないための学習」をモットーに引率者が工夫し準備したものを生徒達に取り組みせました。英語の事前学習はより実践的な内容に絞って練習したり、ホストファミリーや現地校で日本文化を発表する練習に力を入れたことで、例年よりも生徒達は積極的に行動できたようです。留学の成功への鍵は「積極性」にあることを実感しました。現地校の先生の話によると、毎

年日本からたくさんの短期留学を受けているが、本校生はとても勉強熱心で、コミュニケーションも恥ずかしがらずに積極的だったそうです。是非来年も本校生を受け入れたいが来ますか?と聞かれるほど高い評価を得たそうです。

内容に関しては従来と一番違うことは、現地校で毎日英語学習があったことです。現地のエージェントから英語教師が派遣され毎日2時間のレッスンがたっぷりあり、午後は現地校の通常授業に2時間参加できたことです。英語を勉強したいと思って参加した生徒には満足出来るものでした。

ホストファミリーも日本に興味を持って本校生を好意的受け入れてくれたようです。日本料理を作ったり、お手伝いをしたりして、受けるだけでなく与えることができたようで、わずか10日間ほどの短い期間にホストファミリーとの素敵な思い出を作れたようです。参加者は今回の経験を振り返り、出来たこと出来なかったことなどを整理してこれからの学校生活に活かしてほしいものです。

ただ今留学中

Details about My Homework

121 伏木彩澄菜

姉妹校中期留学

留学先 : Citipointe Christian College (オーストラリア)

期間 : 2016/7/16 ~ 2017/6/24



It has been about two months since this term started. It was really quick, busy and challenging for me.

Firstly, I had a Maths exam in the main stream. I think Japanese schools and Australian schools are absolutely different and Japanese schools are more strict on regulations. I didn't have a calculator, my Maths teacher asked me to buy one for the exam. I didn't understand at that time why I had to buy a

calculator, because if people use a calculator, everyone must be able to answer calculation questions. The second issue is that I didn't understand why the teacher lent a calculator to students who didn't have one. In Japan, nobody lends anything and it's my own fault if I forget to bring anything. One of the strange rules in Japanese schools is that you can't pick your rubber up if you drop it, you have to raise your hand to ask teachers to pick it up. Now I completely realize that Australian school rules are much more flexible than Japanese school rules through my experience of this Maths exam.

Next, I was asked to write more details about my homework so I'm going to write them down. I'm always given three hours homework: one hour of listening and speaking and two hours of reading and writing. I normally use some web sites for listening and reading homework and I also use a type of e-book which enables me to not only read a book but also listen to a book as well. Every day, I have to write down what I read and listened. I'm always given something to write so I usually write one or two paragraphs for homework. Therefore, this report is a part of my writing homework too. I can do speaking homework whenever I talk. However, talking to native speakers is still difficult for me, because I always become sensitive about pronunciation and grammar when I talk to them. In the end, my voice gets softer and softer. I need to speak more. When I first came to Australia, I was really surprised about three hours homework, but now I don't think three hours homework is tough and hard. I came here to study English so I must do my homework properly.

I discover many new things every day. I don't like to study, and I don't want to say I like studying. However, I like learning and understanding new things to gain new knowledge for myself through my effort. So I challenged myself. I'll continue to write a report in English and might write about my holiday in my next report. (2017/03/31 受信)

第三のおじいちゃんおばあちゃん

111 岩田 圭果

姉妹校留学

留学先 : Grand Rapids Christian High School (アメリカ)

期間 : 2016/8/5 ~ 2017/3/25

こちらに来てもう7か月半が経ちました あと4日ほどで帰国です。未だに信じられなくて再来週までずっといそうな感じがします。こちらに来

る前もそうでしたが、私は最後の最後までリアリティや危機感を感じられないです。

私は帰るギリギリまで Forensics というスピーチをする部活に入っていました。このクラブには50人ほどいて、みんな一生懸命です。特に私の学校は盛んで、各大会で何回も優勝したりしています。本当は大会に3回で予定じゃないと入らせてもらえないのですが、部活のネイティブの先生に聞いてみたら例外として入れてもらうことができました。とてもラッキーでした！

その時、ちょうど友人から署名の頼まれごとをされていたので、その問題についてスピーチをすることにしました。結果は25人中14人が行ける準決勝まで進むことができました。他の学校の人も仲良くなることができ、その中でもイスラム教の子2人と仲良くなりました。ラマダン(断食)について聞いてみると、実はイスラム教徒の人たちにとってはあんまり苦しくはないそうです。日本では出会うことができない人たちと仲良くなれて、この部活に入れて本当に良かったと思っています。

2月の下旬に、ホストペアレンツが出張でメキシコに行ったので、グランドペアレンツがアリゾナ州から10日間泊まってくれることになりました。グランドペアレンツのことをホストシスターはあだ名で呼んでとても親しいです。2人ともとても元気で地下にあるピンポンを毎日したり、ホストシスターの誕生日を祝うためにケーキ作ったりしました。

私にとってこの2人は、とても大きな存在になりました。2人はとても楽しそうで、明るくて、自由に暮らしています。心から孫(ホストシスター)

たちのことを愛しているし、私のことも本当の孫のように接してくれました。私は浮き沈みが激しく、学校でもなかなか悩みごとなどの深い話ができる友達がいなくて、かなり寂しい思いをしていました。

でも、帰ったら、グランドペアレンツとホストシスターたちとピンポンをしたり、歌を歌ったりなどとても楽しい濃い時間を過ごすことができました。そして、グランドペアレンツに私が学校でアメリカの友達とうまく交流ができないことを伝えたと、とても深い話をしてくれて、私にとっても第三のおじいちゃんおばあちゃんになりました。

学校の友達や先生もいろいろとパーティーなどの時間を作ってくれて、本当に幸せな残りの生活を過ごしています。荷物の整理も少しずつ始めました。2日にはシカゴに友達の家族と一緒に行くことになっています。前のホストファミリーとも会う予定です。2つのホストファミリーを体験できたことは本当にラッキーだなと思いました。自分でも自分自身の価値観や視点が留学する前よりもかなり変わっていることがわかります。帰ったら自分の家族や友達がどんな反応をするか楽しみです。ここでの友達や先生、ホストファミリーに会えなくなるのは本当に寂しいですが幾つかの友達は今年の夏に日本に来る予定をしているので、その時にホストしてあげられたらいいなあと思っています。(2017/3/21 受信)



受け入れ

創立者ヴォーリズの母校・コロラドカレッジから 学生が来日、本校を訪問

3月12日、エリクソン先生はじめ8名の学生やOBの方が左義長に日程を合わせ、近江八幡での文化歴史学習をされました。卒業生のAndy先生やJonathanの協力で有意義な一日を過ごされました。

ヴォーリズ記念館での見学、子供たちと左義長体験、酒遊館での懇親会、そして左義長のフィナーレを八幡宮で見学しました。燃え盛る火を見て、近江八幡での思い出を胸に刻まれたことと思います。

この後は浜松でのホームステイ、ICUでの留学等を経て帰国される3週間のツアーです。池田理事長、ハイド記念館の辻先生、ヴォーリズ記念館

の藪さんのご協力でご貴重な経験となりました。

今夏にコロラドを訪れる本高校生3名も参加し、素敵なおつきあがりもできました。

